

インフォデュー
スマートOCRが
「活文」に採用

アイリックコーポレーションは3月4日、同社の100%子会社であるインフォデューが提供する「スマートOCR」が、日立ソリューションズが開発したビジネスデータの活用を支援する「活文」に採用されたと発表した。

「活文 Intelligent Data Extractor」は、請求書や発注書など、多様なフォーマットの紙の帳票からデータを自動抽出し、データ入力業務の効率化と抽出データの業務活用を支援するもの。スマートOCRは、数ある機能の中から、①手書き文字と活字のOCR変換精度が高いこと②定型・非定型帳票でのOCR変換に対応していることの二つが高

く評価され、「活文 Intelligent Data Extractor」のビジネスモデルに合うことから採用された。

帳票をスマートフォンウェアアプリで撮影してデータ化する案件が増えてきており、スマートOCRは、令和2年国勢調査などを対象とする「AI技術を用いた文字認識サービスの提供業務」に採用された。

今後インフォデューは、官公庁をはじめ、さまざまな企業での業務効率化・経費削減に貢献していく考え。

スマートOCRでは位置指定だけでなくルール定義・データ抽出AIにより、スマホなどから撮影した写真のOCR変換・データ化を可能としてきた。データ抽出パッケージとして、「請求書」「領収書・レシート」「名刺」「運転免許証」「健康保険証」「決算書」「源泉徴収書」をリリースしており、今後さまざまな用途のものをリリースする予定だ。